医療法人あかね会　阿品土谷病院

看護部活動だより　2015　NO.4

看護研究・事例発表会

—2014.12.4　看護部教育委員会主催—

☆看護研究発表☆

「長期入院する腎不全患者の病いの体験」
　—ナラティブ・アプローチの視点から—　看護師　Nさん　Hさん

「医療従事者の接遇向上を目指して」
　—病棟スタッフ間の他者評価導入による意識の変容—　看護師　Nさん　Kさん

☆事例発表☆

「日常的に訴えの多い患者様と接してみて感じたこと」　介護福祉士　Nさん

「褥瘡患者と向き合って」　介護福祉士　Uさん

当院では、毎年この時期、看護研究・事例発表会を行っています。発表を終えた感想を聞いてみました。

テーマや方向性が決まるまでは、不安が大きく気の重い毎日でしたが、共同研究者と共に正誤性や妥当性等を確認することで、一歩一歩前進することができました。研究を仕上げるまでの過程は確かに大変ですが、自己研鑽の機会となることは間違いなく、「やってよかった！！」と言える今日が迎えられたことを心から嬉しく思います。

語りを中心とした研究だったので、言葉をかわす中での患者様の表情が印象的で、思いを引き出すためには、日ごろのコミュニケーションと信頼関係が大切なことをあらためて感じることができました。また、共同研究者と意見を交わすことで、先輩看護師の考え方を知り、自分の看護観を深めることができて嬉しかったです。

接遇は人間関係構築の要です。長期入院患者様の多い当病棟では、患者様、スタッフ間の言葉使いが馴れ合いになってしまいます。他者評価に抵抗感はありましたが、他者評価は自己を高めることに繋がりました。常に意識付けが大切であり啓蒙活動が必要です。発表の日を迎えることができ嬉しく思います。

面会が少ない患者様と、じっくり向き合い話をすることで、心を開き会話してもらうことができました。患者様の心に添える介護を提供したいです。

褥創ができやすい患者様の除圧について、病棟スタッフ、リハビリでチーム一丸となり取り組むことができました。今後も個別性のある介護を提供したいです。

—発表者のみなさんお疲れさまでした—

看護部ホームページ委員会作成
2015年2月発行